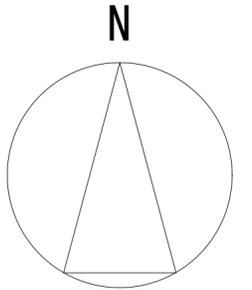


# Initiative School ~生きる力を育む学び舎~

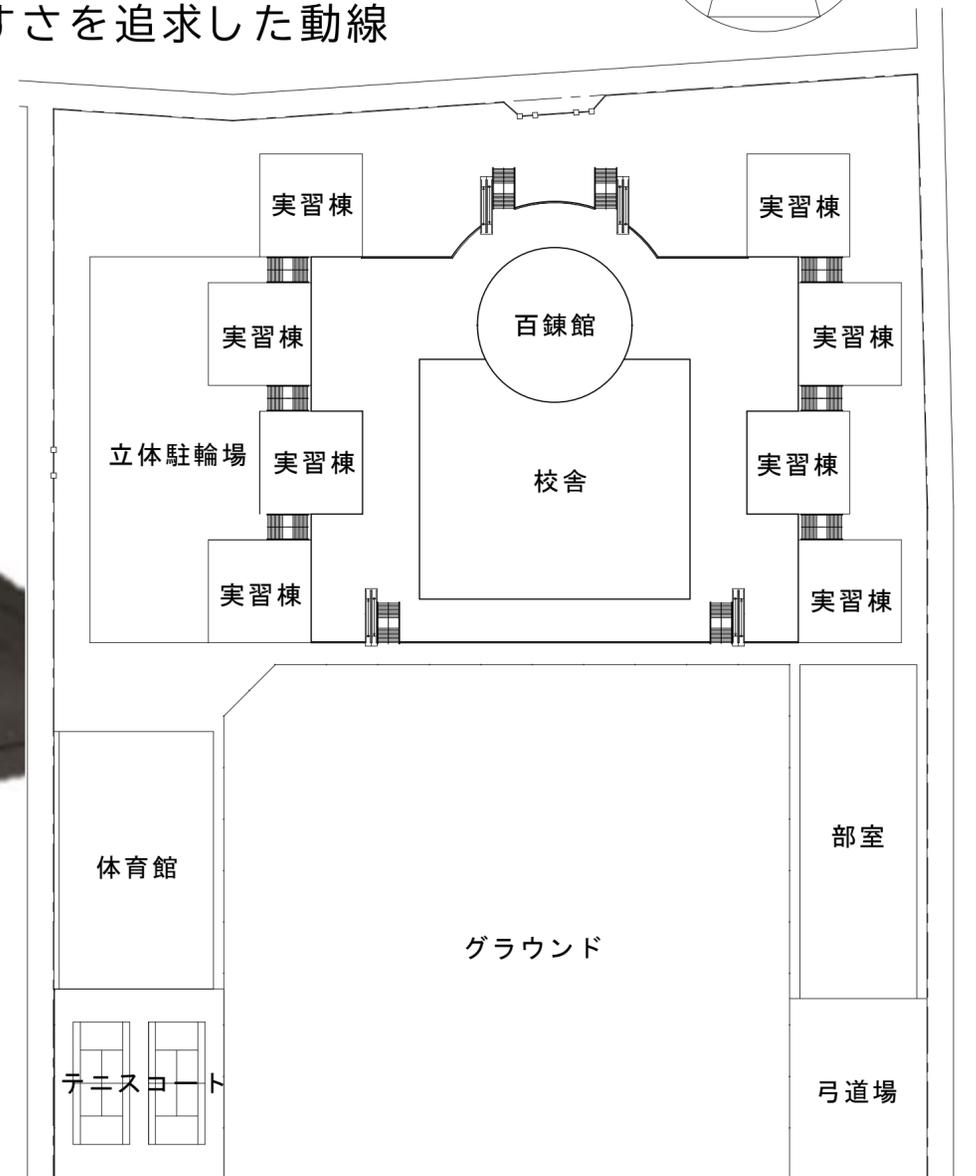
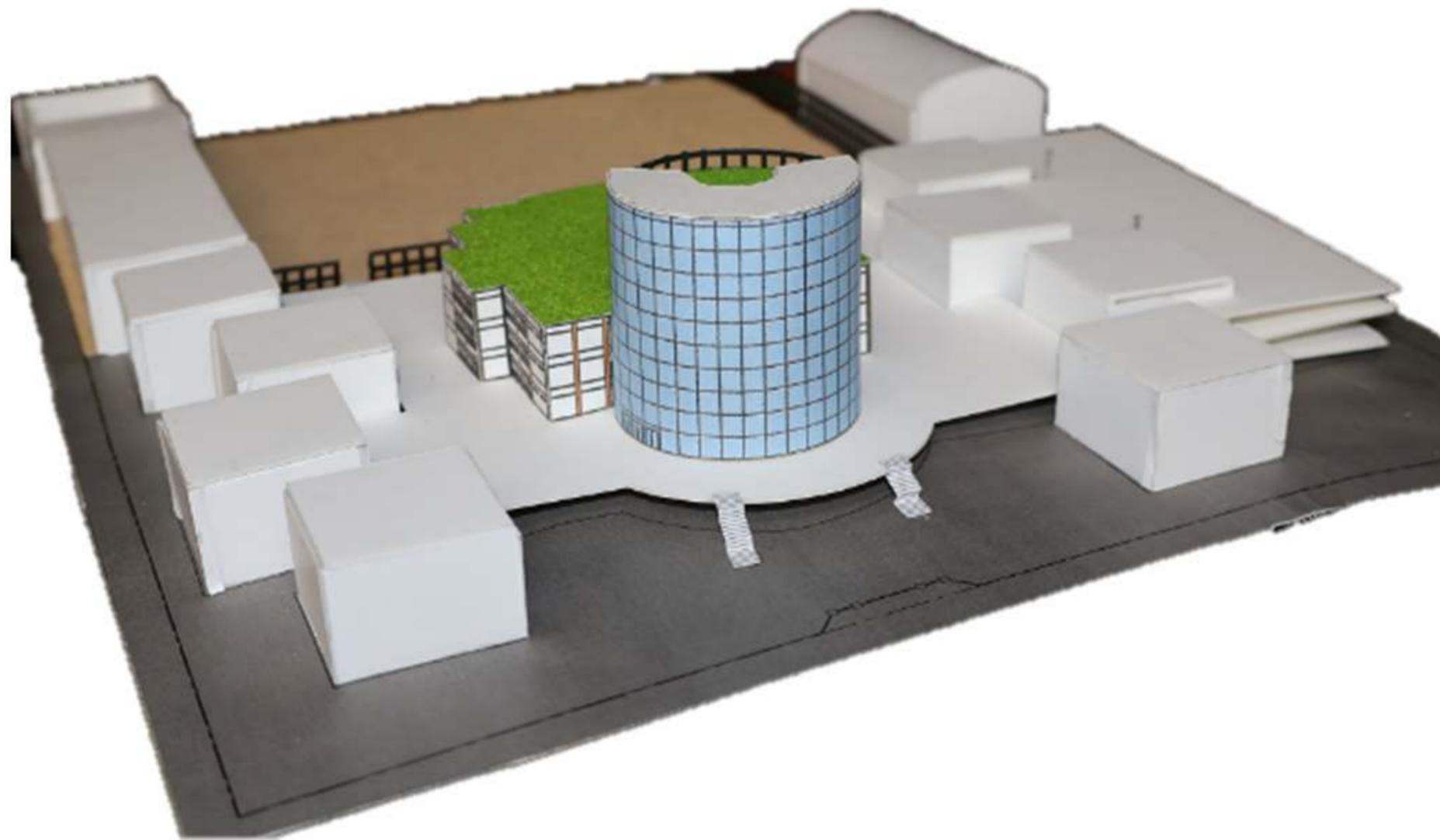
私たちが生活する松山工業高校は、異なる時期に増築、改築が行われたために様々な場所に教室が分散されており、学年・学科をこえた交流が難しく、図書館が遠く利用しづらいなどの移動の問題も抱えている。また、現在耐震不足により百錬館(創立70周年記念館)が使われていなかったり、設備が整わないために使いにくい・使われない教室も多い。

そこで、使いやすく、さらに主体性を伸ばすことができる生徒のための校舎を造りなおすための4つのコンセプトを提案する。

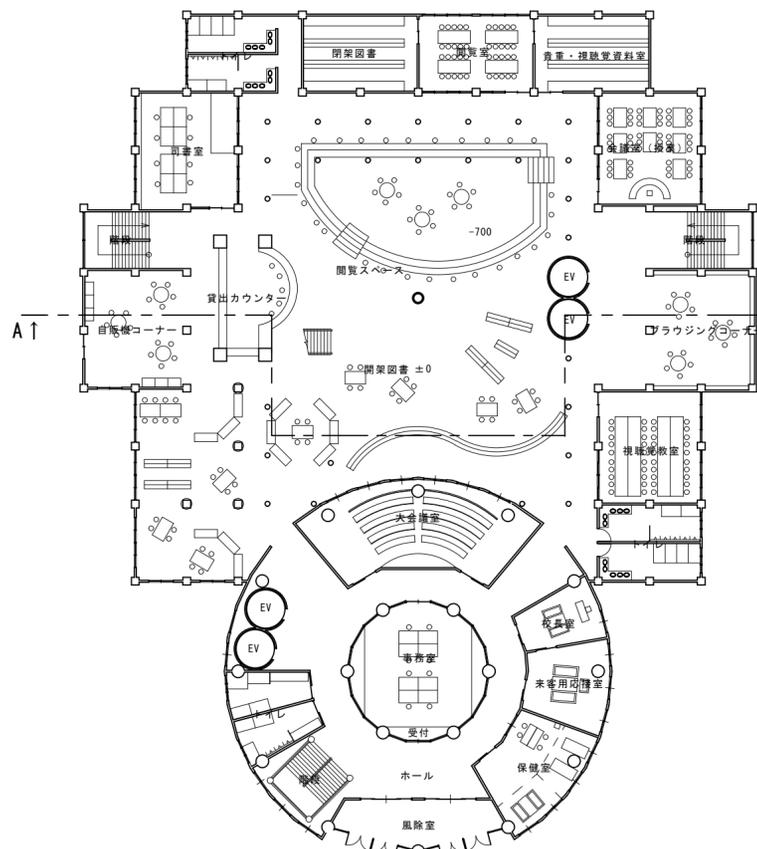


4つの  
コンセプト

- 1 生徒のための百錬館
- 2 生徒の存在を感じ、交流が生まれる校舎
- 3 未来の教育形態に向けた空間
- 4 使いやすさを追求した動線



配置図 1:1000



1階平面図 1:400

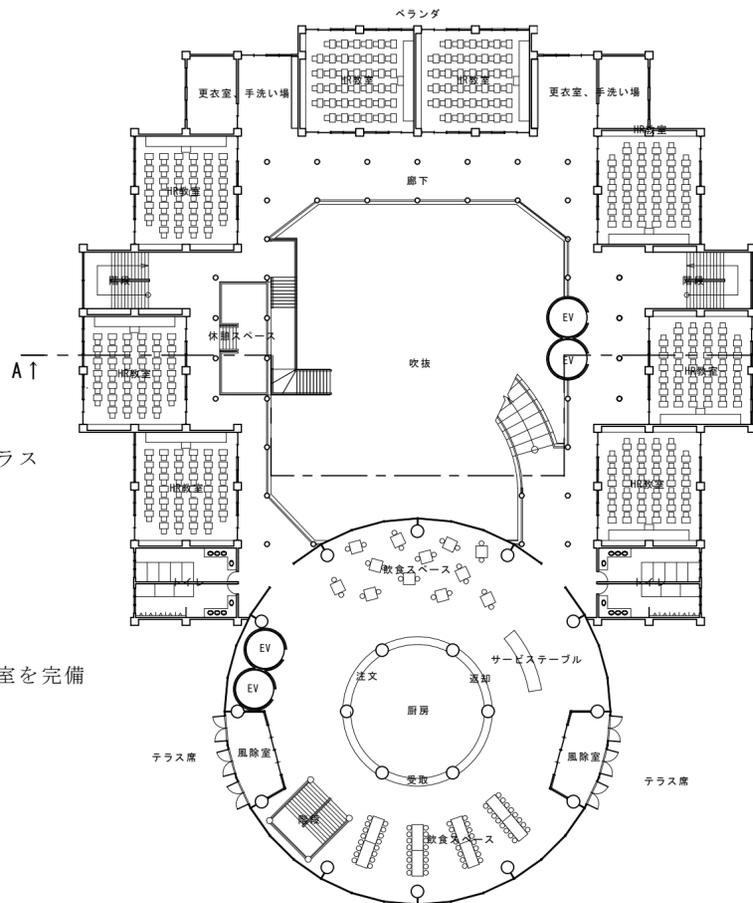
02 生徒の存在を感じ、  
交流が生まれる校舎

学びの拠点である図書室を中央に配置  
→自然と生徒が集まる

様々な場所に取り入れた高低差  
→立つ場所によって校舎の表情を変え、  
開放感を与える

向き合う教室をつなぐ吹き抜け部分の  
「クロス・ブリッジ」による視線の交差  
→コミュニケーションへつなげる

すべてのホームルーム教室を一つの教棟に  
まとめる



2階平面図 1:400

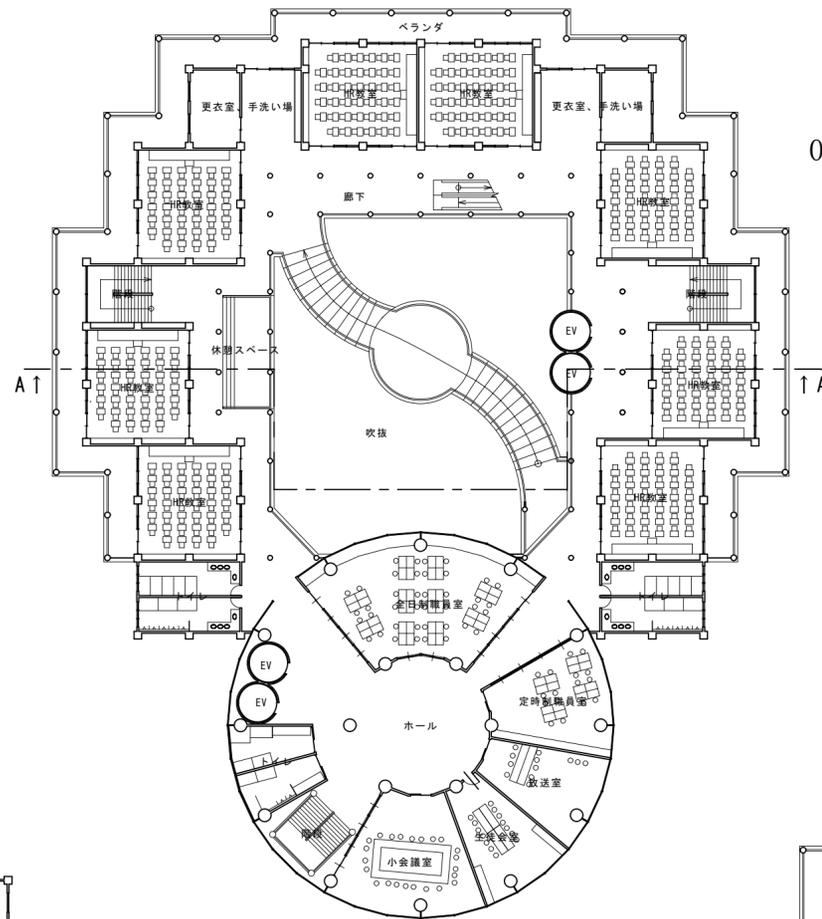
01 生徒のための百錬館

食堂、テラスの設置

未来のモノづくりの象徴となる全面ガラス  
張りの百錬館

事務室などの主要室を集める  
→来客者の使いやすいエントランスへ

運動部、文化部、生産部それぞれに部室を完備



3階平面図 1:400

03 未来の教育形態に向けた空間

木材とガラスを基調としたデザイン  
→温かみ、未来感

「自由」を表現するアシンメトリーの配置

端末や多くの教材を利用するための  
大きな机と教室

ICTに対応した図書館

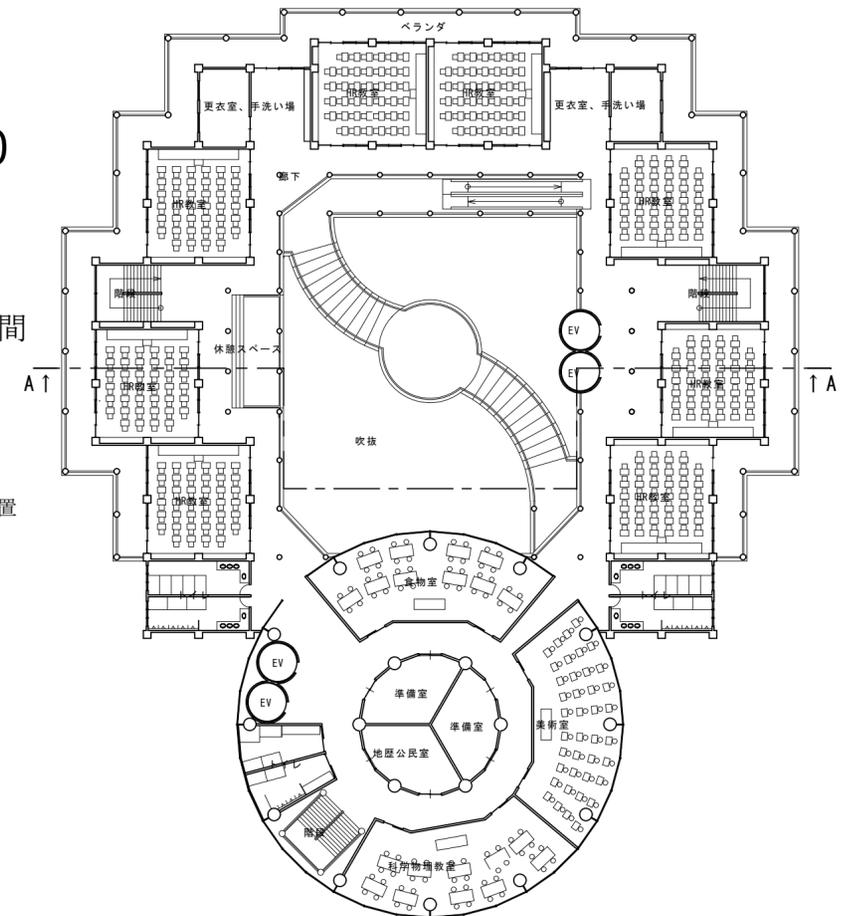
04 使いやすさを追求した動線

エレベータ、エスカレータの設置

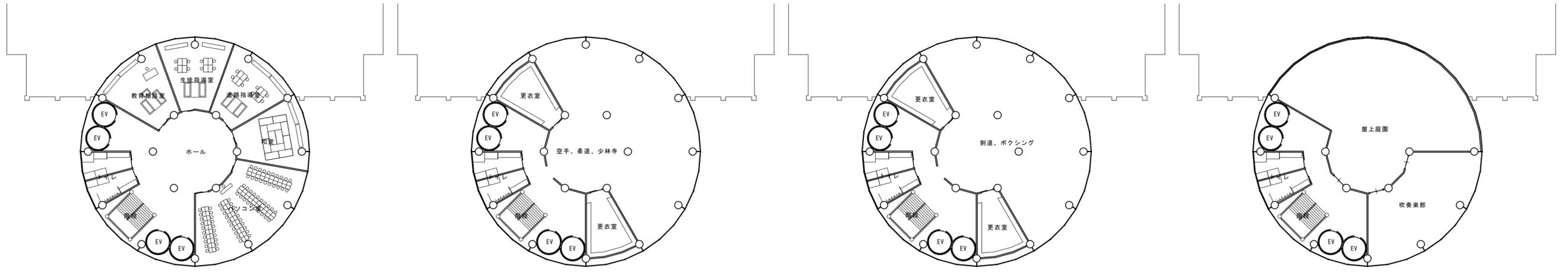
トイレ、更衣室などの完備

二つの体育館を合体

ペDESTリアンデッキによる歩車分離  
→移動の制限をなくし、駐車スペースも確保



4階平面図 1:400



5階平面図 1:400

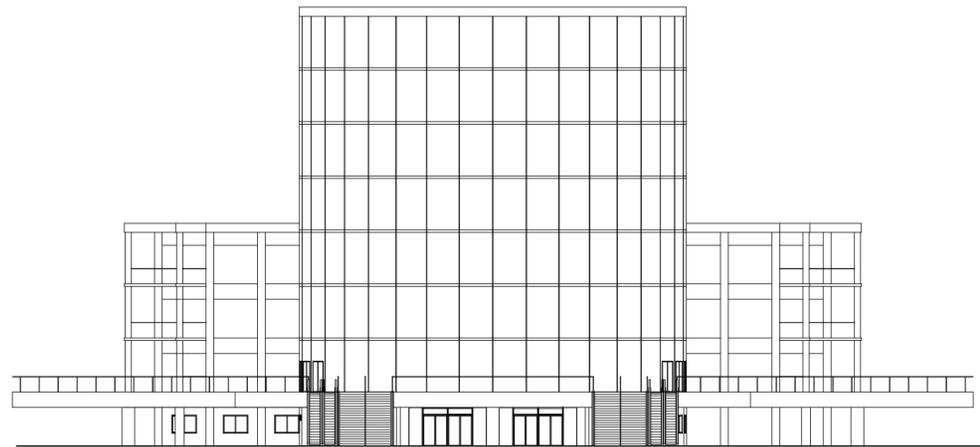
6階平面図 1:400

7階平面図 1:400

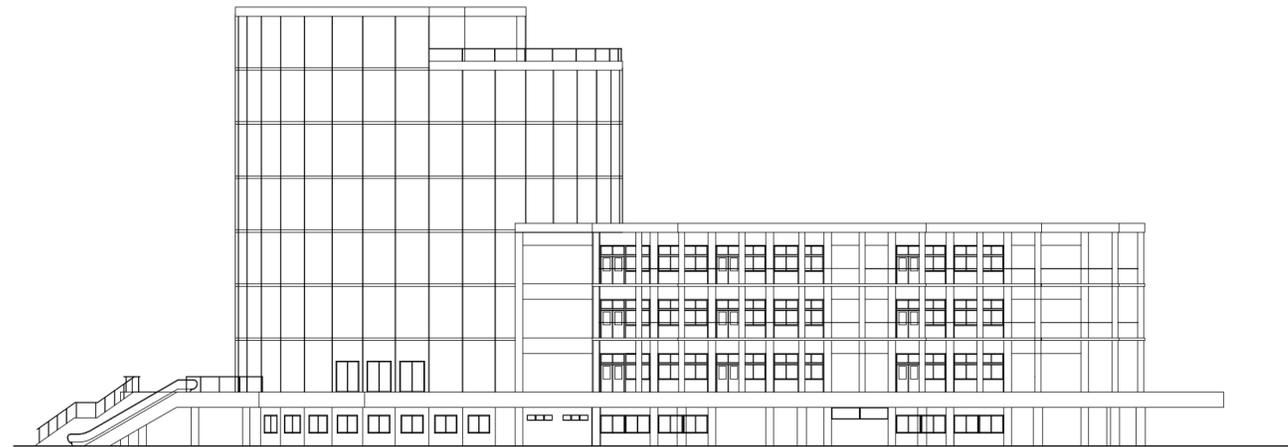
8階平面図 1:400



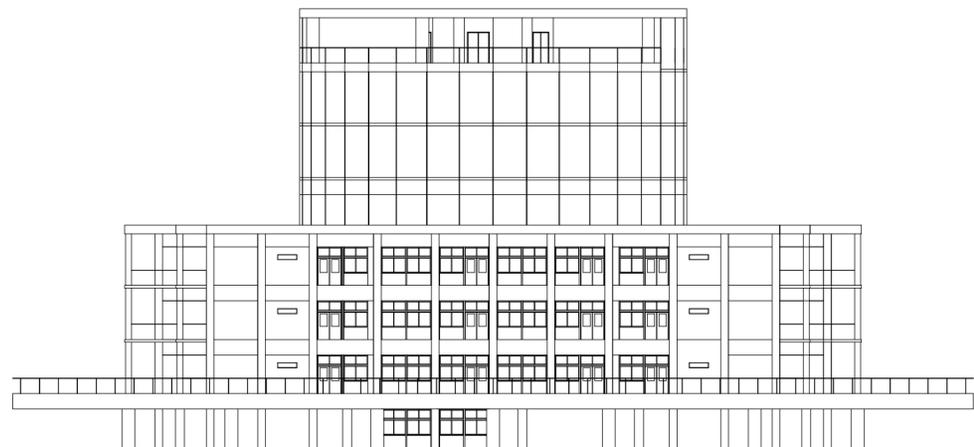
A-A断面図 1:150



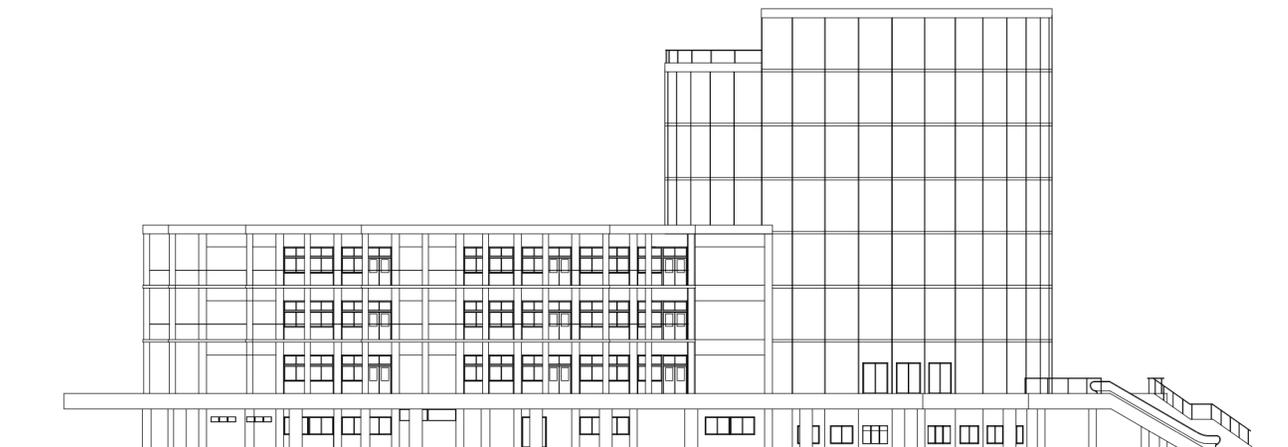
北立面図 1:400



西立面図 1:400



南立面図 1:400



東立面図 1:400

この四つのコンセプトを通して生徒に寄り添う松山工業高校を実現することができれば、  
これからより多くの優秀な技術者を輩出する学び舎となるだろう。